



ROTARY INTERNATIONAL

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 365



KO HIRASAWA



% MIYAKO HOTEL  
AWATAGUCHI HIGASHIYAMAKU  
KYOTO, JAPAN

No. 14 June 30, 1968

ガバナー月信 第14信 (昭和43年6月30日)

第365区ロータリークラブ

国際ロータリー第365区ガバナー

会長 並びに 幹事殿

平 澤 興

## ロータリアンとしての あなたの資格を 効果的に

*Make your Rotary membership effective*

ホッジス R.I. 会長

### 感謝と祈り

梅雨の晴れまに遠くの東山はかすみ、庭の緑も輝くばかりです。その中でひときわ目立つ白い花、それはクチナシです。去年私がガバナー月信の第1号を書いた時にも、妙に私はこのクチナシの花に心をひかれたのですが、もうあれから1年、私は同じ机で最後のガバナー月信を書いているのです。このガバナーの1年は長いようでもあり、またまるで一瞬のようでもあります。無我夢中で過したというのが偽らざる私の気持ちです。

今ガバナーを終るに当って、私の胸に浮かぶものは、一にも感謝、二にも感謝、三にも感謝でございます。会長、幹事をはじめ、理事、役員、会員のすべてに対し、心から厚く御礼申し上げます。わけても手足となってお助け下さった京都の地元クラブ、ホーム・クラブ、ガバナー補佐の方々の徹底した御奉仕には感謝の言葉もございません。

最後のガバナー月信はロータリー年度最後の6月分の出席報告などがありますので、新年度にまたがりますが、もう新年度が始まっておるのです。御承知の如く、ロータリーでは原則として、1年ごとに役員、理事、委員長などが変わりますが、これはロータリーの硬直と老化を防ぎ、たえずロータリーに若さと創造性を与える意味において、まことにすばらしいことだと存じます。これはまた、ロータリアンが互に仕事を分かちあって、出来るだけ多くの会員がよくロータリーに通じるというような意味でも、大切なことだと思われまます。

我々は立場が違って、みな等しくロータリアンであり、年ごとにいろいろ情熱を燃やしてよりよきロータリアン、よりよき世界人になりたいものです。いくつになっても人生には余りにも学ぶべき事が

多うございますが、しかし、さればこそ人生は限りなく尊いものだと存じます。我々個人はいわば地上におけるひと時の旅人に過ぎませんが、しかしその努力のリレー的集積によって人類の歴史も文化もつくられて来たのであり、今後もそうであります。そういう角度から見ると、真の意味で完成された人間像などというものはなく、すべては相対的な当座的の人間像で、長い将来に亘っての完き人間像はいよいよこれからだと思われまゝ。人間を特長づける精神活動の中核たる大脳皮質の構造もそれを裏がきしており、大脳皮質を占める凡そ140億の神経細胞の全部を利用しつくした人間は、如何なる天才をも含めて過去5万年の人類の歴史の中にはまだ一人もないということであり、神経学的立場からは人類の将来にはまだまだまことに前途洋々たるものがあり、むしろ人類の将来はこれからだとも言われるのであります。

こういう人類の運命を考えると、殺しあうのではなく、互に奉仕の精神で助けあうロータリーの意義はいよいよ深くなります。一日も早く殺しあうような時代を終らせて、互に助けあう時代になるよう努力いたしましょう。そしてこの夢がただの言葉ではなく、之を日々の生活の中で生かすように頑張らしましょう。祈りはあくまでも大きく、しかもこれを最も身近かのところから実行いたしましょう。

ありがとうございました。ありがとうございました。

## ○ 奈良市立一条高校 I. C. 認証状伝達式

去る6月22日(土)、14:30より閑寂の地、奈良ホテルを会場として、多数来賓をお迎えし、スポンサー・クラブ奈良 R. C.、一条高等学校 I. C. 会員参列のうへ、標記の式典が厳粛に催うされました。

先ず佐々木 I. C. 顧問の司会にはじまり、堀インターアクト諮問副委員長の開式の言葉、国歌並びに校歌斉唱のあと、奈良 R. C. 足達会長の挨拶、岸インターアクト諮問委員長の経過報告、つづいて感激の認証状伝達、記念品の贈呈が大きな拍手のうちに終わりました。次に I. C. 顧問、I. C. メンバーの紹介があり、そのあと I. C. 会長白田君の若ものらしい気魄の宣言、ガバナーの私は心から祝福とはげましの言葉を、そして宮本地区インターアクト・アドバイザー委員から、また地区内の I. C. スポンサー・クラブを代表しての京都西 R. C. 加藤会長からの祝辞と続き、これに応えられて一条高校谷村校長より深甚な謝辞が述べられ、最後に中野インターアクト諮問委員よりお礼の挨拶で限りないよろこびの式典は終了いたしました。

15:30 感謝公演と銘したプログラムに移り、



I. C. メンバーによる英語劇〈ロメオとジュリエット〉は実にたいしたもの、余程の勉強が重ねられたご様子で、その洗練された演技、流暢な英語の台詞は魅了の一語につき、流石は古都奈良の名門校の感を深くしたのであります。その他いろいろ強烈な印象もいまなお去来していますが、紙面も許されず遺憾に堪えません。

16:30 より祝宴が開始され、足達会長の包みきれない欣快のこぼれ、満腔の祝意をこめての乾杯、和気霽々ロータリーのよろこびを分かちあいつつ17:30 散開となりました。因みに、

I. C. 会長	白井成男
I. C. 幹事	松嶋恒夫
メンバー	50名